

# 「ユース」をキーワードに実施した シンポジウム&セミナー

～プネ（インド）で開催された会議での発表を例に～

企画委員会 委員長 中道 貞子

# INTERNATIONAL CONFERENCE 2024

HOSTED BY  
INDIAN FEDERATION OF UNIVERSITY WOMEN'S  
ASSOCIATIONS (IFUWA)

**"WORKING TOGETHER FOR A  
SUSTAINABLE FUTURE"**



MARCH 01 & 02, 2024



09:00 AM - 05:00 PM



UNIVERSITY WOMEN'S ASSOCIATION, PUNE,  
272 - E, JAMBHEKAR PATH, GOKHALE NAGAR, PUNE - 411053



UWAsia 会議

主催：インド大学女性協会

日本からの参加者 3名

国際ネットワーク委員会委員長  
鈴木千鶴子

愛知支部長  
稲葉みどり

企画担当副会長  
中道貞子



# "WORKING TOGETHER FOR A SUSTAINABLE FUTURE"

DAY 2

## PANEL 3 : UWASIA - SPEAKERS



Prof. Begum Gulbahar

VP - Bangladesh Federation of University Women



Dr. Chizuko Suzuki

Deputy CIR - Japanese Association of University Women



Dr. Supinda Lertlit

CIR - Thailand Association of University Women



Dr. Ambreen Ashar

Associate Prof of Chemistry  
Govt. Post Grad. Col. Samanabad



Dr. Suwithida Charungkattikul

Faculty of Education,  
Chulalongkorn University



Chui Man Ping' Candace

Project Dir of HKAUW  
Deputy Sec. General of Hong Kong Writers



Bina Maharjan

Board member & Project Coordinator  
Nepal Association of University Women



Dr. Saira Banoo

CIR - Pakistan Association of University Women



Dr. V. Bharathi Harishankar

Panel Moderator  
Vice Chancellor - AVIHIS & HE

## 2日目 各国からの報告 (対面参加) 日本・タイ・ネパール





SDGs達成の鍵となるユースとの協働に向けたJAUWの取り組み

**JAUW'S ENDEAVORS TO  
COLLABORATE WITH  
YOUTH AS A KEY TO  
ATTAINING SDGS:  
FOCUSING ON  
OUR SEMINARS & SYMPOSIUMS**

**by Chizuko SUZUKI,  
& Teiko NAKAMICHI**  
**in Panel 3: UWAsia,  
IFUWA International  
Conference 2024**  
**on March 2, 2024**  
**@Univ. Women's Asso.,  
Pune, INDIA**

# Aims

1. ユースとのコラボレーションを発展させるためのプロジェクトの共有
2. 私たちの活動の議論と評価
3. より良い未来社会のために、私たちが取るべきステップや方法を見つけること

- 1.To share our NFA's projects for developing collaborations with youths**
- 2.To discuss and evaluate our activities**
- 3.To find out steps and ways for us to take for making a better future society**

## Conference Theme: Working Together for a Sustainable Future

JAUW's Endeavors to Collaborate with Youth as a Key to Attaining SDGs:

# Focus: Seminars & Symposiums

Teiko NAKAMICHI, Vice-president & Planning Committee Chair,  
Japanese Association of University Women



「啓発・提言」  
ページの紹介  
セミナーとシンポジ  
ウムの位置づけ

Education  
&  
Advocacy



# Toward a Better Society

より良い社会を作るためにつねに調査や研究を行っています。今日の社会が抱えるさまざまな課題の中からとくに重要なテーマを取り上げて、毎年一般公開の形でシンポジウムやセミナーを行っています。その成果を報告書としてまとめ、広く一般に発信し、啓発活動に努めています。



Seminars &  
Symposiums



Surveys &  
Research



Our Voices

たこと、今後向かってゆくべき方向性...



# Symposium 2022 (22/10/2022) Education, Gender & Inclusion

Let's Consider Future Japan from Youth Perspective  
～ユースの視点から見直そう これからの日本～

2022年度 一般社団法人 大学女性協会 主催 公開シンポジウム  
**教育・ジェンダー・共生**  
～ユースの視点から見直そう これからの日本～

日時：2022年10月22日(土) 10:30～16:00  
開催形式：対面(定員70名)×Zoom(定員100名) 事前申込制  
対面会場：エッサム神田ホール2号館6階・中会議室  
申込方法：Googleフォーム <https://forms.gle/ZuuhUJLjLk4hUj1a>  
または E-mail: [info@jauw.jp](mailto:info@jauw.jp) または Fax: 03-5356-2819  
参加申込締切(対面)：2022年10月16日(土)  
参加費：1,000円(対面、Zoomとも、学生は無料)  
昼食：1,000円(ご希望の方はお申し込みください)  
申込期間：10月17日(月)  
※ 申込先・申込・問合わせ先、会場地図などは裏面をご覧ください。

開催趣意  
コロナ禍の生活が続いて2年を過ぎ、いろいろな問題が顕在化しています。そのような中で  
開催する今年度のシンポジウムは「教育・ジェンダー・共生」を土壌とするテーマとして「ユースの視点  
から見直そう これからの日本」という趣意で開催します。基調講演は、ながらく若者に寄り添  
い、若者の就労や学費支援に関わっておられる講演者にお話を伺います。パネリストは若者研究  
者、大学教授、大学生の方が主です。それぞれの立場から、現在の若者や、現代社会が抱えている  
課題、自分にとっての課題などをお話ししていただきます。

大学女性協会はついに「教育・ジェンダー・共生」の標榜を掲げ、社会の発展を担う女性リー  
ダーの輩出を期して活動してきました。シンポジウムでは、ユースの声を聴き、ユースの力を  
日本の未来に活かす、よりよい社会を実現するための取組が必要だと改めて考えたいと思えます。  
開催趣意に向け、私たち一人ひとりの力は小さくても、ネットワークを認めて繋がること大きな力  
になります。シンポジウムが一歩踏み出すきっかけになることを願っています。

プログラム

10:30～10:40	開会	挨拶	会長 杉村洋子
10:40～12:10	第一節	基調講演「ケアしあう社会をつくる」	講演者 静岡県立大学 教授
12:10～13:10		昼食・休憩	
13:10～15:00	第二節	パネルディスカッション	ファシリテーター 企画委員長 中道高子 モデレーター 津波聡子
15:00～16:00	閉会		

「安心して私生活と両立できる環境とは?」 一宮裕子  
「子どもとの関係と養育費の増加について」 宮下麻穂子  
「誰もが目撃しているために私たちが動かない」 佐藤尚代・植田昌馬

基調講演者のプロフィール

講演者 (静岡県立大学 国際関係学部国際関係学科 教授)  
内容: 多くの人が未来を悲観する中、私もはたまたま思うこと、敢行すること、ケアしあう  
ことが求められている。ケアしあえる社会にどう向かうか、そのための取り組みと  
方向性について考えたい。また、大学卒業など伝統的に行われている立派な目標に向けてみ  
て、気づくことについて話したい。

経歴: 東京大学社会学部社会学専攻、ウィスコンシン(現)立大学社会学部社会学専攻、少年期  
青年期の発達を経て、経済、静岡県立大学教授、学術人「青年期社会学ネットワーク研  
究」顧問、著書に『若者社会学』(有朋堂)、『若者の社会学』(有朋堂)など

パネリストのプロフィール

一宮 裕子 (総合地球環境学研究所 京都府立産業創造センター研究員 京都府知事補佐)  
内容: 東京とキャリア開発方を担う若者研究者からは、伝統にも異なり不安定な働きか  
たを指すことを願っている。研究に活路を求めた若者研究者の立場から、若者の  
生活やキャリア開発を支援する必要があるのではないかと、若者では研究対象である若者研究者にも  
関心があり、若者研究の重要性を改めて感じました。若者研究の重要性を改めて感じました。若者研究の重要性を改めて感じました。

経歴: 東京大学社会学部社会学専攻、ウィスコンシン(現)立大学社会学部社会学専攻、少年期  
青年期の発達を経て、経済、静岡県立大学教授、学術人「青年期社会学ネットワーク研  
究」顧問、著書に『若者社会学』(有朋堂)、『若者の社会学』(有朋堂)など

宮下 麻穂子 (静岡県立大学 法学部 助教 東京支部長)  
内容: 日本の子どもは豊か、豊かになりつつある。その一方で、子どもの貧困問題が深刻  
化する中、大きな社会問題となっている。その一方で、子どもの貧困問題が深刻化する中、大きな社会問題  
となっている。その一方で、子どもの貧困問題が深刻化する中、大きな社会問題となっている。

経歴: 早稲田大学社会学部社会学専攻、早稲田大学社会学部社会学専攻、早稲田大学社会学部社会学専攻、早稲田大学社会学部社会学専攻、早稲田大学社会学部社会学専攻

佐藤 尚代 (静岡県立大学 看護学部2年生 「学生助けたいんじゅー」メンバー)  
松田 昌馬 (静岡県立大学 国際関係学部2年生 「学生助けたいんじゅー」メンバー)

内容: 私たち学生発案で立ち上げた「学生助けたいんじゅー」は、大学生が貧困で苦し  
む若者を支援するために、大学で取り組むためのさまざまな活動を行っている。  
その一つが学生ボランティアセンターの活動。この活動を通じて、若者の生活や  
キャリア開発を支援する必要がある。活動を通じて、若者の生活やキャリア開発を支援する必要がある。

申込・問合わせ先

エッサム神田ホール3号館  
〒102-0047 東京都千代田区神田3-5-5 TEL: 03-5354-8707  
2F 神保町 奥口(西口) 徒歩3分  
東京メトロ有楽町線 神保町駅4番出口 徒歩3分

申込・問合わせ先  
\* 対面(対面70名×Zoom100名)になり次第、締め切らせていただきます。  
\* 新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、事前申込みのみとさせていただきます。  
\* Googleフォーム、E-mail、またはE-mailからお問い合わせください。  
\* Zoom参加二重確認方法、Googleフォームからお申し込みいただけます。参加費の納入は「事前」10月20日までに、ZoomのURL、参加者リストを共有いたします。  
\* 参加費は現金とし、事前の振替振込、または、以下に口座振込(銀行振込)が必要です。参加費は現金のみでなく、ZoomのURL、参加者リストを共有いたします。  
\* 申し込みの受付は、受付の締め切りまで、TEL、E-mailにて受け付けさせていただきます。

申請書・領収書 03-5356-2819 (お問い合わせ) 会場: O-15店 322566 - 一般社団法人 大学女性協会  
\* 入会費はキャンペーンの場合は、半額です(お申し込み時必ずお申し込みください、ご了承ください)

一般社団法人 大学女性協会 〒160-0007 東京都豊島区目黒II番地6 パールリンク豊島南ビル5F 101  
TEL: <http://www.jauw.jp> E-mail: [jauw@jauw.jp](mailto:jauw@jauw.jp)  
TEL: 03-5356-2819 (夜間受付) TEL: 03-5356-2819 FAX: 03-5356-2819  
発行の報告書は別紙 印刷: 2022-10-17

\* Key note speaker:  
Dr. Tsutomi,  
Prefectural University  
of Shizuoka.

“Creating a Society  
that Cares for Each  
Other”

ケアしあう社会をつくる

\* Four Panelists

一般社団法人 大学女性協会  
**教育・ジェンダー・共生**  
～ユースの視点から見直そう これからの日本～

一般社団法人 大学女性協会  
Japanese Association of University Women

Symposium Flyer 2022 (July, 2022)

Symposium Report  
(March, 2023)





Young Panelists

Key note speaker

Facilitator



Through the symposium, the difficulties young people face in life were highlighted.

# Student Survey: Toward a Hopeful Society that Cares for Each Other



**アンケート  
協力のお願い!**

**内容**  
Google forms アンケートに回答  
<https://forms.gle/T5F792ZVMUQv6WTKA>



**調査目的**  
○現在のユースが抱えるさまざまな問題を把握する  
○問題の背景にある社会的障壁を認識する  
○社会的障壁の除去や解決方法を検討する  
○どのように助け合えることができるかを追究し、連携につなげる

**テーマ**  
「ケアしあう希望ある社会を目指して  
～ユースの生きづらさを探る～」

**趣旨**  
わたしたち大学女性協会は、これまで様々な教育問題に熱心取り組んでまいりました。ユースの皆さん独自の視点と経験に基づき、誰もが生きやすい希望ある社会を共に実現していきたいと考えています。  
※「ケアしあう社会」の「ケア」は「支える者・される者」という上下関係に陥りませんが、私たちは、お互いの力やバラスが保たれたい、やわらかい助け合いをして、また、行政の福祉政策なども含めた広く社会的な視点としてとらえています。

**スケジュール**  
2023年6月30日 締切あり

※個人・所属が特定されることはありません。  
※ご協力、どうぞよろしくお願いいたします。

主催 (一社) 大学女性協会 調査・研究委員会  
<https://www.juwv.org/>  
E-mail research.juwv@gmail.com

- \* Survey conducted using Google form
- \* 300 Responses
- \* Currently being analyzed by Research Committee

- \* Post-survey student Interviews



# Seminar 2023 (21-22/10/2023)

## Education, Gender & Inclusion

### To Utilize Youth Power for the Future



～ユースの力を日本の未来に活かすために～

2023年度 JAUW 大学女性協会 主催 全国セミナー

### 教育・ジェンダー・共生

～ ユースの力を日本の未来に活かすために ～

日時：10月21日(土) 11:00～16:30 / 22日(日) 9:30～11:40  
 開催形式：対面(定員50名) + Zoom(定員100名、参加費は別) 事前申込制  
 対面会場：エッセム神田ホール1号館3階 大会議室301号  
 申込方法：Google フォーム <https://forms.gle/1Uw1Ce24fUCm25b9>  
 または E-mail: [jauw@jauw.org](mailto:jauw@jauw.org) または Fax: 03-5338-3888  
 参加申込締切(対面)：2023年10月14日(土)  
 参加費：2,000円(対面、Zoomとも、学生は無料)  
 昼食 1,000円(対面の方はお申し込みください)  
 懇親会：先着40名、5,000円(対面、神田エッセムホール 立川家 神田駅西口徒歩1分)  
 申込期間：10月16日(月) (参加費、昼食代、懇親会費とも)  
 ※ 振込先、申込、問い合わせ、会場地図などは裏表をご覧ください。

**開催趣旨**  
 大学女性協会は社会の発展を促す女性リーダーの輩出を謳って活動を行っています。2018年度からは「教育・ジェンダー・共生」をメインテーマに掲げ、公認シンポジウムと全国セミナーを開催してきました。3年余りに及ぶ2019-21の軌程などにより、世界中で関心や期待が広がり、ますます注目の時代を迎えています。そのような時代背景の中、今年度の全国セミナーでは、昨年度のお話し合い「ユースの視点から見る未来」これからの日本、これからの未来、様々な課題の解決に向け、未来を担うべき次世代の人々が希望をもって立ちあがる社会の構築のために、今、私たちにできることをみなで考え、議論の糸口を繋ぎたいと考えています。

**プログラム**

10月21日(土)  
 11:00-11:30 開会 挨拶 会費 会務説明  
 11:30-12:40 基調講演「ユースの力を活かすために」 三浦まり(上智大学 教授 東京支部)  
 12:40-13:30 昼食・休憩  
 13:30-14:40 全体会  
 ①COVETに学ぶ、中核的リーダーの育成 伊藤美穂(法政大学 教授) 伊藤美穂(法政大学 教授)  
 ②「女性活躍推進法」をきっかけに「ジェンダー平等」を実現する 伊藤美穂(法政大学 教授) 伊藤美穂(法政大学 教授)  
 ③「女性活躍推進法」をきっかけに「ジェンダー平等」を実現する 伊藤美穂(法政大学 教授) 伊藤美穂(法政大学 教授)

15:00-16:30 分科会 (Zoomでは参加できません)  
 1. 教育「キャリア教育を推進して」  
 2. ジェンダー「強くて賢く」女性の政治参加に、必要なこと  
 3. 社会「誰もが生きやすい社会を目指して」

10月22日(日)  
 9:30-11:30 全体会  
 ①分科会報告とディスカッション  
 11:30-11:40 閉会

### 基調講演者のプロフィール

三浦 まり (上智大学法学部法律学科 教授 東京支部)  
 内務・学生ともから、特別活動委員をコンシラー役まで担ってこられた。ハラスメント対策の推進や企業  
 に対しての啓蒙活動が数多くあります。学芸大時代に於いて女性向けハラスメントを巻き起こす  
 学生運動に関与し、どのような状況でも解決策を模索し、また学生たちの参加やアクティビズムの  
 重要性などについてお話しします。

経歴：慶応義塾大学法学部卒業、慶応義塾大学大学院法学研究科、カリフォルニア大学バークレー校にて  
 Ph.D. (政治学) 取得、専門は「ジェンダーと政治、政治学、ケアと社会正義論、Qの倫理、憲法、  
 選挙に「さくら」憲法論、選挙制度、政治、政治学、政治学、政治学、政治学、政治学、政治学、政治学、  
 政治学」(掲載誌：2023) など、YouTubeチャンネルも開設中。

**分科会《教育》**  
 「教育の中心」できない? 以上と教育の重要性を改めて  
 伊藤美穂 (慶応義塾大学大学院法学研究科 教授 東京支部) 伊藤美穂 (法政大学 教授 東京支部) 伊藤美穂 (法政大学 教授 東京支部)

**分科会《ジェンダー》**  
 4月22日 特別講演の準備中  
 伊藤美穂 (法政大学 教授 東京支部) 伊藤美穂 (法政大学 教授 東京支部) 伊藤美穂 (法政大学 教授 東京支部)

**分科会《共生》**  
 伊藤美穂 (法政大学 教授 東京支部) 伊藤美穂 (法政大学 教授 東京支部) 伊藤美穂 (法政大学 教授 東京支部)

**博士号取得者のキャリア形成**  
 伊藤美穂 (法政大学 教授 東京支部) 伊藤美穂 (法政大学 教授 東京支部) 伊藤美穂 (法政大学 教授 東京支部)

**女性活躍推進法をめぐって**  
 伊藤美穂 (法政大学 教授 東京支部) 伊藤美穂 (法政大学 教授 東京支部) 伊藤美穂 (法政大学 教授 東京支部)

**大学における選挙権の活用**  
 伊藤美穂 (法政大学 教授 東京支部) 伊藤美穂 (法政大学 教授 東京支部) 伊藤美穂 (法政大学 教授 東京支部)

**アタカス**  
 伊藤美穂 (法政大学 教授 東京支部) 伊藤美穂 (法政大学 教授 東京支部) 伊藤美穂 (法政大学 教授 東京支部)

**申込・問合せ先**  
 定員 (対面 50名+Zoom) 200名 になり次第、締め切らせていただきます。  
 ● 事前申込みの申し込みは、10月16日(月) 11:00迄にしてください。  
 ● Google フォーム、または、上記URLからお申し込みください。  
 ● Zoom 参加ご希望の方は、Google フォームからお申し込みください。  
 ● 参加費の入金は、10月16日(月) 11:00迄にしてください。Zoom の申し込みは、10月16日(月) 11:00迄にしてください。  
 ● 参加費の入金は、10月16日(月) 11:00迄にしてください。Zoom の申し込みは、10月16日(月) 11:00迄にしてください。  
 ● 参加費の入金は、10月16日(月) 11:00迄にしてください。Zoom の申し込みは、10月16日(月) 11:00迄にしてください。

- \* Key note speaker: Dr. Mari Miura
- \* Plenary Session 1
- \* Parallel sessions 1~3, six panelists
- \* Plenary Session 2

JAUW 全国シンポジウム 2023

### 教育・ジェンダー・共生

～ ユースの力を日本の未来に活かすために ～

一般社団法人 大学女性協会  
 Japanese Association of University Women

Seminar Flyer 2023 (July, 2023)

Seminar Report (March, 2024)

Keynote speaker:

**Dr. Mari Miura (JAUW member)**

Professor of Law, Sophia University, Japan

Awarded the National Order of Merit by the French government for spreading the idea of "parité" in Japan



## Spread of activism in universities



- \* The personal is political.
- \* We can't solve our personal life problems alone.
- \* It is important to share problems and solve them together.

# Plenary Session: Interim Report from Research Committee

Presented by research committee chair



ケアしあう希望ある社会を目指して  
~ユースの生きづらさを探る~

### アンケート 協力のお願い!

**内容**  
Google Forms、アンケート用紙  
https://forms.gle/8333333333333333

**調査目的**  
○専攻のユースの生きづらさを明らかにする  
○専攻のユースの生きづらさを明らかにする  
○社会的課題の解決に貢献する  
○ユースの生きづらさを明らかにする

**調査日時**  
2023年10月21日 14時~16時

**調査場所**  
+専攻 1階 101号室  
+専攻 2階 201号室

**お問い合わせ先**  
大学女性協会 調査・研究委員会  
TEL: 076-421-1111  
E-mail: research\_juav@grad.nyu.ac.jp



\* Parallel session 1:  
Aiming to build a career



\* Parallel session 2:  
What is needed now to increase  
women's political participation?



\* Parallel session 3:  
Toward a society where  
everyone can live easily

\* Parallel session 1:  
Aiming to build a career



キャリア構築を目指して

## 6名のパネリスト

- \* 3名は、国内奨学金受賞者
- \* 2名は、前市長・元市議会議員  
(ファシリテーターは現市議会議員)
- \* 1名は、社会福祉委員会委員長



改めて問う 女性の政治参画に今、必要なものは何か

誰もが生きやすい社会を目指して

\* Parallel session 3:  
Toward a society where  
everyone can live easily

(インドでの発表に入れなかったが)

## CSW67参加者からの報告



国連日本政府代表部ブリーフィング





# 茨城支部からの報告

## 様々な年代からの発表



# Plenary Session 2: Reports & Discussion



# Recommendations from Planning Committee

ユースの力を日本の未来に活かすために

～全国セミナーでの議論を踏まえて～

## 私たちの提言

1. ライフイベントの色々な場面で遭遇する「壁」を分析し、乗り越えるための知恵を出し合うこと
2. 学校教育や生涯学習における主権者教育の推進・障害者の「能力」観の育成など、色々な場面での教育のあり方を考察すること
3. ロールモデルになること・ロールモデルを見つけること
4. キャリア構築に必要なスキルを身につけること・周囲の環境整備の充実を図ること

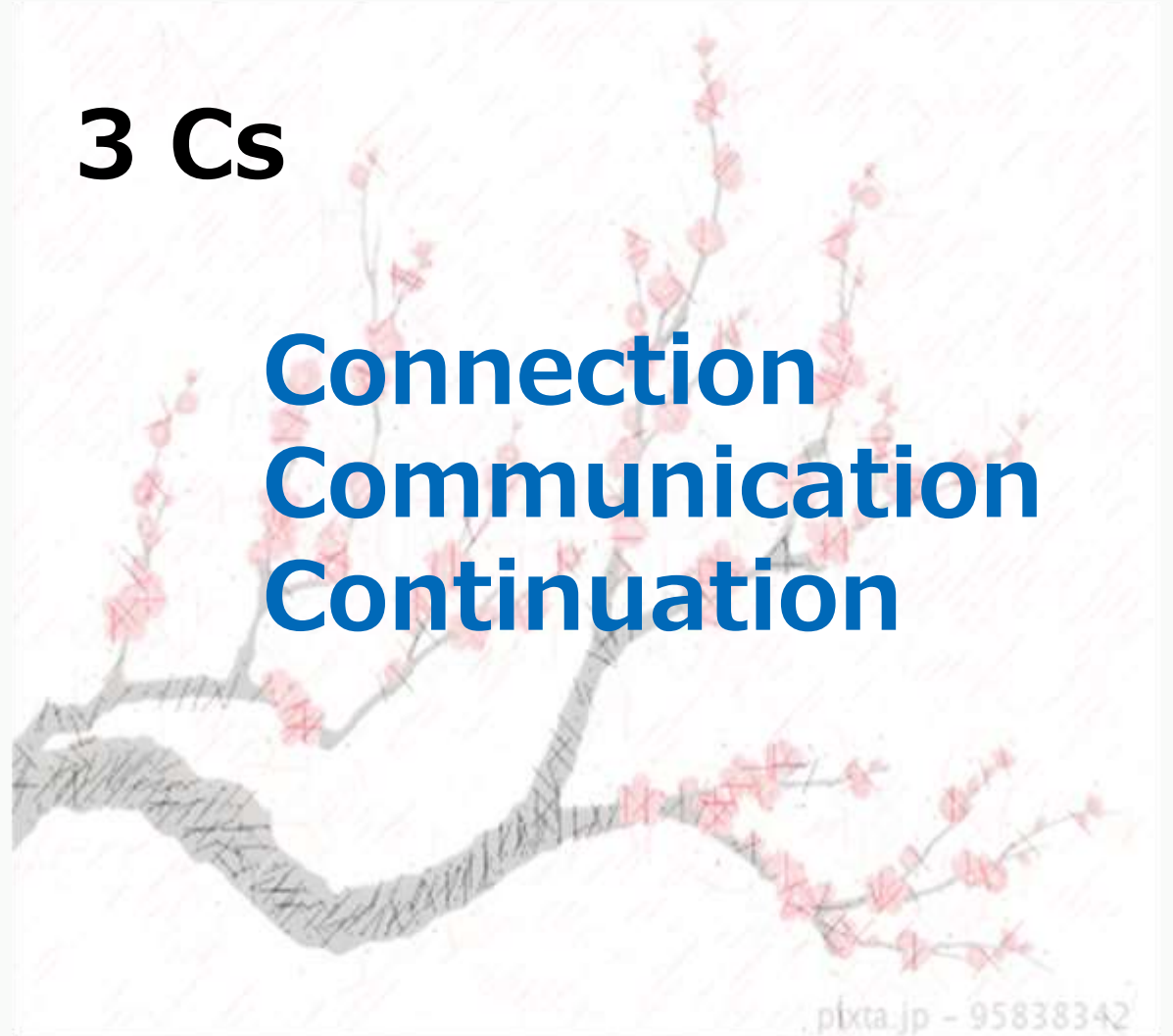
2024年3月1日

一般社団法人大学女性協会 会長 岩村道子

# Conclusion

**3 Cs**

**Connection  
Communication  
Continuation**



# 守田科学奨励賞 受賞者

協会会報 J.A.U.W.

2012. 7. 25 発行 (6)



植物揮発性物質がもたらす生物間相互作用の研究  
—生物多様性メカニズムに迫る—

京都大学 白眉センター 特定助教  
塩尻 かおり

## 太陽面爆発の観測的研究による宇宙天気研究の推進

京都大学宇宙総合学ユニット 特定准教授  
浅井 歩



魚類が独自に発達させてきた  
浸透圧調節機構を探る

東京大学大学院農学生命科学研究科 助教  
井ノ口 蘭



魚類が息息する水圏環境は、海洋や河川、湖沼などその塩分濃度は多様である。そのような特殊な環境に生息しているにもかかわらず、現存魚類の大部分を占める真骨魚の体液浸透圧は陸生脊椎動物と同じ生理的範囲（海水の1/4～1/3）に保たれている。陸生脊椎動物は体表からの蒸発や呼吸に

# 国内奨学生

## 一般奨学生

医用画像の物理的定量解析を実現する  
X線イメージング検出器の開発



金沢大学大学院 医薬保健学総合研究科  
博士後期課程2年

紀本夏実

私は医療の X 線画像診断において、



JAUW生涯学習委員会 2024年度  
Jカフェ<ゲスト編>  
～ JAUWヒューマンリソース活用プログラム～  
聖母マリアの晩年  
～東と西の図像交流をたどる～  
桑原夏子さんはJAUW 大学生女性協会2011年度の一般奨学生です。2年後にフレンツェ大学美術史専攻博士課程の外国人枠に初めて日本人として合格。13世紀から15世紀のイタリアにおける聖母晩年伝説の研究に取り組み2018年に博士号を取得されました。JAUWが国内奨学生70周年を記念して発行した冊子「学ぶよるこび 育つたのしみ」に桑原さんはフレンツェから投稿され、イタリアの人々とのゆたかな交流について記されています。ご研究の成果とあわせてイタリアの日常生活のお話も楽しみにです。  
2024年 6月22日 (土) 14:00～16:00  
オンラインZoom開催  
【講師：プロフィール】  
2005年 徳島大学文学部卒業  
2010年 徳島大学大学院修士課程修了  
2013年 フレンツェ大学大学院博士課程修了(博士号取得)  
2014年 『美術史』編纂委員(高校文学部) 卒業  
2019年 第1回西洋中世学会卒業論文賞  
その際、イタリア政府奨励奨学生、マックス・プランク美術史研究所「フィレンツェ」サマースクール研究員、ロベルト・ロンギ美術史研究奨励フェロ、ボロンギ大学美術史専攻奨励「フィレンツェ」ポストドクトラールフェロー、日本学術振興会特別研究員PDを経て  
現在 早稲田大学高等研究所専任講師、博士(美術史)  
東京イタラトラーニの設立 桑原夏実

# CSW参加者



## CSW68 (第68回国連女性の地位委員会) 報告会

2024年4月29日(月・休) 19:30-21:30 (Zoom開催)



古原佐保さん  
(若手派遣)



横山浩花さん  
(若手派遣)



藤川真理子さん  
(東京支部会員)



木口京子さん  
(岡山支部会員)

# 次世代につなぐ会



学ぶよるこび 育つたのしみ  
Joy to Learn, Hope to the Future  
国内奨学生70周年記念  
2024年  
一般奨励学生女性協会  
Japan Association of University Women

# 守田科学奨励賞 受賞者

協会会報

J.A.U.W.

2012. 7. 25 発行



植物揮発性物質がもたらす生物間作用の研究  
—生物多様性メカニズムに迫る—

京都大学 白眉センター 塩尻

太陽面爆発の観測的研究による宇宙天気研究の推進

京都大学宇宙総合学研究所 ユニット 特定准教授 浅井 歩



魚類が独自に発達させてきた浸透圧調節機構を探る

東京大学大学院農学生命科学研究科 井ノ口



魚類が生息する水圏環境は多様である。そのような環境に生息しているにもかかわらず、現存魚類の大部分を占める骨魚の体液浸透圧は陸生物と同じ生理的範囲（海水～1/3）に保たれている。陸動物は体表からの蒸発や



New!

## ハイブリッドで語り合う自由研究会 次世代につなぐ会 #3 #4

大学女性協会には、さまざまな年代、多様な分野の方々があります。本会は昨年の秋に発足、若手の方が多いのが特徴です「あれをしよう！これをしよう！」と盛り上がっています。

▶ **メンバーによるアイデア**で、月例会、スポットの会が始まっています。

月例発表/談話会



2024 **2月10日(土)** 10:00-11:30

場所：オンライン



前半：ショートセミナー

“カリフォルニア便り”

★**グーグルフォーム**で申し込み可能



Speaker **塩尻かおりさん**

京都支部会員、守田科学奨励賞の受賞者。龍谷大学農学部/農学研究科教授。専門は生態・環境学。『植物と昆虫の匂いコミュニケーション』他、植物の匂いに注目した研究。現在、カリフォルニアで研究中。

Q&Aの時間もございます。



発表&ディスカッション

★どちらも会員でなくともお問い合わせで参加可能！無料です。



2024 **2月27日(火)** 18:30-21:00

場所：オンライン

前半：ショートセミナー

“仲間とは何か、オタマジャクシの社会に学ぶ”  
“国際色豊かな環境での研究経験を通して”



Speaker **長谷和子さん**

仙台支部会員 東北大学大学院 生命科学研究科 助教

**加島璃子さん**

東京工業大学 物質理工学院 応用化学系 博士2年、  
第1回若手女性科学者海外研修助成金受給者



★参加希望の方はお問い合わせ先のメールアドレスまでご連絡ください。

後半：ディスカッション

セミナーに関すること、現在の関心、女性の働き方etc.. 気ままな語り合いの時間です。

当会では、異分野の方々とのざっくばらんなコミュニケーションを通して、  
**世代を超えた社会貢献とは？**を考えていきます。みなさまのご参加をお待ちしています。

【参加申し込み・お問い合わせ】 iwamuraichiko2015@gmail.com

# CSW参加者



**V68 (第68回国連女性の地位委員会) 報告会**

2024年4月29日(月・休) 19:30-21:30 (Zoom開催)



左保さん  
(若手派遣)



横山浩花さん  
(若手派遣)



藤川真理子さん  
(東京支部会員)



木口京子さん  
(岡山支部会員)

# 次世代につなぐ会



# 守田科学奨励賞 受賞者

# 国内奨学生

# CSW参加者

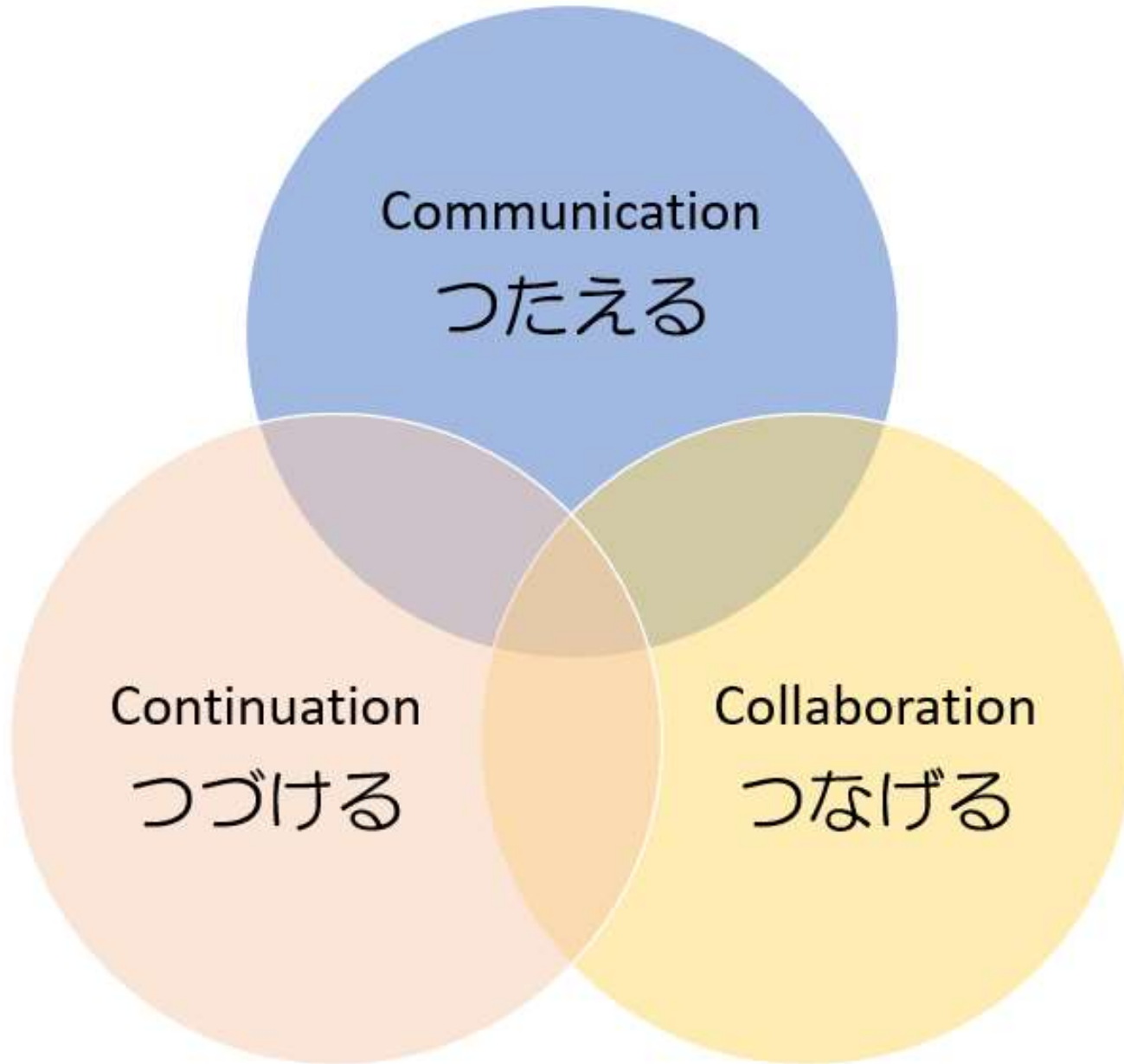
協会会報 J.A.U.



植物揮  
作用の  
一生物

太陽面爆発の観測的研

京都大学宇宙研



3 (第 68 回国連女性の地位委員会) 報告会

年 4 月 29 日 (月・休) 19:30-21:30 (Zoom 開催)



横山浩花さん  
(若手派遣)

藤川真理子さん  
(東京支部会員)

木口京子さん  
(岡山支部会員)

## 次世代につなぐ会

